

あがの 市議会だより

第49号

令和3年

9月 定例会号

令和3年10月15日 発行



主な内容

議案ピックアップ・議決結果	P1-2
常任委員会の活動報告	P3-4
市政を問う一般質問 (13人)	P4-7
令和2年度決算審査ほか	P8

9月14日、さわやかな青空の下、京ヶ瀬小学校5年生の稲刈り体験が行われました。子どもたちは鎌で稲を刈り取ったり、コンバインまで運んだり、ボランティアの方々と元気に作業していました。



議案ピックアップ

議案を議決するまで、さまざまな視点から審議を重ねています。9月定例会で審議した中からピックアップして内容をお知らせします。

阿賀野市印鑑条例の一部改正

マイナンバーカードを使用して、コンビニエンスストア等に設置されている多機能情報端末機から印鑑登録証明書を発行できるようにするための改正。令和4年度から発行可能となる予定です。



阿賀野市職員の特殊勤務手当に関する条例の一部改正

新型コロナウイルス感染症から市民等の生命および健康を守るため、緊急の作業に従事した職員に防疫等作業手当を支給する改正。人事院規則の改正に準じるものです。

- 問 今まで手当は支給されていないのか。
 答 支給はない。この改正は、消防職員が救急搬送業務に従事する場合を想定している。



五泉地域衛生施設組合規約の変更

令和3年11月30日をもって阿賀北広域組合がし尿と浄化槽汚泥の処理を終了するため、阿賀野市全域を五泉地域衛生施設組合の共同処理の対象とするよう、規約を変更します。

9月定例会が 9月6日～24日の会期で 開かれました

6日 本会議
 ■一般行政報告 ■議案の提案説明
 ■一般質問1日目(5人が質問)

7日 本会議
 ■一般質問2日目(6人が質問)

8日 本会議
 ■一般質問3日目(2人が質問)

10・13・14日 各常任委員会
 ■委員会に付託された議案を審査

16・17・21日 決算審査特別委員会
 ■令和2年度各会計決算を審査

24日 本会議
 ■決算審査特別委員会、各常任委員会の審査報告のあと討論を経て採決
 ※議決結果は2ページ

一般会計補正予算(第5号)

議案ピックアップ

主な内容

■子育て世帯商品券配布事業補助金 7,410万円

新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けている子育て世帯の生活を支援するため、子ども1人につき商品券1万3千円分を支給します。令和4年3月31日現在で18歳以下の子どもが対象となります。

■予防接種委託料 4,405万5千円

新型コロナウイルス感染症の収束が見えない中、秋以降のインフルエンザの感染リスクを軽減するため、中学生以下および65歳以上のインフルエンザ予防接種費用を令和2年度に引き続き全額補助します。中学生以下分2,120万7千円、65歳以上分2,284万8千円。



■安田中学校改修工事費 2,600万円

管理棟のトイレを洗浄付き洋式トイレに改修します。令和4年度事業として要望していた国庫補助金が前倒しで内示されたことによる補正です。



■環境センター施設等修繕料 360万4千円

焼損したベルトコンベアの緊急修繕料252万6千円。燃えるごみに混入した電池等が破砕された際に発火したことが原因と推測される。



その他、最終処分場よう壁の亀裂緊急修繕料107万8千円。

壊れたベルトコンベア。小さな不燃物の混入が火災や事故につながる。

一般会計補正予算(第6号)

主な内容

■新型コロナウイルス感染症拡大防止協力金 1億2,103万円

新潟県が行った酒類を提供する飲食店等への営業時間短縮要請に、9月3日から16日までの全期間において協力した飲食店等に対する協力金。財源は全て県補助金。

9月定例会の議決結果をお知らせします

全会一致で議決した議案等

議案名		審査した委員会※	議決結果
補正予算	一般会計補正予算(第5号)	総文 社厚 産建	可決
	後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	社厚	可決
	介護保険特別会計補正予算(第1号)	社厚	可決
	下水道事業会計補正予算(第1号)	産建	可決
	一般会計補正予算(第6号)	省略	可決
条例	阿賀野市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報提供に関する条例及び阿賀野市個人情報保護条例の一部改正について	総文	可決
	阿賀野市職員の特殊勤務手当に関する条例の一部改正について	総文	可決
	阿賀野市手数料条例の一部改正について	社厚	可決

議案名		審査した委員会※	議決結果
その他	阿賀野市過疎地域持続的発展計画について	総文	可決
	五泉地域衛生施設組合規約の変更について	社厚	可決
請願	「コロナ禍における私立高校生の学びを保障し私立高校の教育環境整備をはかるため、私学助成増額・拡充を求める意見書」の採択を求める請願	総文	採択
	コロナ禍に苦しむ人々に食料を支援する施策を求める意見書の提出を求める請願	産建	採択
発議	コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書の提出について	省略	可決
	コロナ禍における私立高校生の学びを保障し私立高校の教育環境整備をはかるため、私学助成増額・拡充を求める意見書の提出について	省略	可決
	コロナ禍に苦しむ人々に食料を支援する施策を求める意見書の提出について	省略	可決

※省略：本会議で即決したもの
 総文：総務文教常任委員会 社厚：社会厚生常任委員会
 産建：産業建設常任委員会
 ◆各委員会での審査結果は市ホームページでご覧になれます。

意見が分かれた議案等

○：賛成 ×：反対 議長(市川英敏)は採決には加わりません。

議案名	審査した委員会※	議決結果	公明党	日本共産党				新風あがの					会派の所属なし				
			村上 清彦	宮脇 雅夫	岡部 直史	松崎 良繼	山口 功位	風間 輝榮	大滝 勝	百都 順也	加藤 博幸	遠藤 孝	荒澤 浩和	遠藤 智子	近山 修	清野 栄一	天野 市榮
阿賀野市印鑑条例の一部改正について	社厚	可決	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
討論(要)(有) 反対意見	マイナンバーカードには、今後、運転免許証、税金、社会保険料、医療情報などの紐づけも計画。当面の印鑑登録証明書のコンビニでの発行は、紛失・盗難で情報漏えい、「なりすまし」犯罪リスクの増大が危惧され、証明書1件あたり、3,000円の経費もかかる。積極的に推進すべきでない。																

常任委員会の活動

市の仕事を3つに分け、関係する議案等の審査や調査を行います。阿賀野市では議員1人が2つの委員会に属しています。(ただし議長は常任委員になりません。)

総務文教 常任委員会

総務部所管の市政全般の企画や調整、財務、市税、防災、教育等に関する調査や議案・請願等を審査します。

令和3年7月29日に所管事務調査を行いました

認定こども園京ヶ瀬幼稚園の現況について

平成30年度より認定こども園となった京ヶ瀬幼稚園について、園の概況について学校教育課長より説明を受け、その後現地調査を行いました。

こども園化に伴い新たに造られた沐浴室、調理室、未満児用のトイレのほか、消防法の適用が変わったことによる構造の変化、新型コロナウイルス感染症対策として新設された水栓設備などを確認しました。

園庭については、今年初めの大雪で、隣接する道路から除雪された雪の捨て場になっていたことや、新たに設置予定の遊具について説明がありました。現地調査後の質疑では、幼保一体化に伴い、幼稚園として教

育を行う機能と、保育園として保育を行う機能がどのように違うのか、またそれをどのように両立しているのかという点を中心に質疑されました。令和元年10月から始まった幼児教育・保育の無償化に伴い、すべての園児が保育・教育といった区別なく、ほとんど変わらないサービスを受けられるよう運営されていますが、一方で職員の勤務体制に、より大きな負担が掛かることが懸念されます。

子育て世帯のニーズが共働き世帯の増加により大きく変化しており、これに添えていくための体制づくりとして、職員の補充などを検討してほしいとの意見が委員より挙げられました。

市内中学校の校則制定状況について

学校の校則については、昨今の報道等において、全国の一部の事案で必要かつ合理的な範囲を逸脱しているのではないかと、指摘がなされています。そこで、当委員会では市内各中学校の校則の制定状況について調査を行いました。

学校教育課長より市内各中学校の校則制定状況について説明を受け、その後の質疑では髪型や下着の色などについて、また近年スマートフォンを所有する

生徒が増加したことに伴い、使用にあたっての指導方針や検討について質疑されました。今年6月に文部科学省より校則の見直しに関する取組事例について、全国の教育委員会等に通知が出されました。当市教育委員会においてもこの通知を受け、各地域の実態に応じた適切な対応をするよう各学校に依頼しました。

閉会中の継続調査事項(12月定例会まで)
水原小学校大規模改修工事の概要と進捗状況について



認定こども園になった京ヶ瀬幼稚園。



園内の説明を受ける委員。



的に決めるのではなく、生徒や保護者にアンケートを実施し、それに基づいてそれぞれが議論していく機会が必要ではないかとの意見が委員より挙げられました。

社会厚生 常任委員会

民生部所管の福祉、介護、子ども、保健、医療、環境、生涯学習等に関する調査や議案・請願等を審査します。

令和3年8月4日に所管事務調査を行いました

子育て支援センター「にっこ」の運営状況について

子育て支援センター「にっこ」は、安心してこどもを産み育て、楽しく子育てができるよう、子ども同士、親同士、地域の人たちと子育て家庭をつなぐ懸け橋となることを目的とした施設で、あがの市民病院移転後の跡地を利用して、平成28年4月に開設されました。「にっこ」は建物の1階にあり、2階には病児保育室「おひさま」と適応指導教室「白鳥ルーム」があります。

【開設日時】 水曜日から日曜日の午前9時から午後4時
【対象者】 主に就学前の子どもと祖父母を含む保護者
【利用料金】 無料(一時預かりは有料)

【利用者数】

年度	利用者数	対前年度
平成28年度	12,366人	
平成29年度	15,905人	128.6%
平成30年度	17,928人	112.7%
令和元年度	17,852人	99.6%
令和2年度	11,333人	63.5%

年間2万人の利用を目標として順調に推移していましたが、令和2年度は新型コロナウイルスの影響もあり1万1千人台にとどまりました。今年度は徐々に増加していますが、さらに注

意を図りながら今後の活動や受け入れ等の対応が必要です。

【施設について】 施設内は明るく広く、清潔に保たれています。各部屋は幅広い年齢に対応できるよう、設備やおもちゃなどに様々な工夫がされています。安全面にもとても配慮され、安心して子どもを遊ばせられる施設であると感じました。感染症対策として、トイレとおむつ交換室の自動水栓化、入館時の名簿記入、空気清浄機などの設置、部屋の面積に応じた利用人数の設定などがされています。

【事業について】 「にっこ」は、子どもたちと保護者が安全に楽しく遊び、交流できる場を提供しているほか、緊急時等の一時預かりや育児相談なども実施しています。また、利用者との協力して育児に関する冊子や広報誌を発行し、好評です。昨年は、子どもと一緒に利用できる市内の飲食店などの情報を利用者が取材してまとめた「あがのまま」を発行しました。過去には「パパ手帳」「孫育て手帳」を発行しています。

利用者からは、「引越したばかりで初めての子育てに不安もあったが、心配事を相談でき、孤独にならず、安心して過ごせる『にっこ』があつて本当に

よかった。」「初めての子育ては想像していたより大変。悩みを相談したり、『にっこ』で開催されるイベントに参加して気分転換をしたり、今は楽しく子育てができています。子育ては、悩みや辛さを一人で抱え込まず、周囲の人に頼ることが大切だと痛感した。」等の声が寄せられています。



説明を受ける委員。写真右側の飲食ルームには冷蔵庫などが設置され、常時使用可能。



けが防止対策のためゴム舗装された玄関前広場。3密対策で、今年は小さいプールのみ。

閉会中の継続調査事項(12月定例会まで)
市立図書館及び市民図書館の現況について

産業建設
常任委員会

産業建設部所管の道路、河川、商工業、農業、観光、公園、上下水道等に関する調査や議案・請願等を審査します。

令和3年7月27日に所管事務調査を行いました

圃場整備について

現在、阿賀野市内において先行5地区に加え、新たに下里地区が採択されたことから整備箇所は6地区となっています。他の地区においても、圃場整備実施の計画がありますが、新潟県の財政危機や要望地区が多いことから、新潟県は分割で新規採択を進めることとしており、地区の要望に答えられない状況が続いています。

■整備先行5地区の状況

中ノ通地区 (21ヘクタール)

〔平成29年度・令和6年度完了〕

堀耕東地区 (41・7ヘクタール)

〔平成30年度・令和5年度完了〕

滝沢地区 (77・9ヘクタール)

〔平成30年度・令和5年度完了〕

発久地区 (71ヘクタール)

〔令和元年度・令和6年度完了〕

勝屋地区 (42・5ヘクタール)

〔令和元年度・令和6年度完了〕

※5地区の総事業費

61億3,100万円

■現地視察地区の状況(2か所)
発久地区：担い手農家14名・2法人・一般農家22名

長辺219メートル×幅30メートル、65アールの圃場では、今年度1作目、盤づくりとして水稻の作付けが行われておりました。新潟県の基準では、長辺が200メートルを超えた場合、両側給水、両側排水、両側農道の施工ができることから、今ある機械でも対応可能で、農家の

■委員会意見

圃場整備は当市の農業・集落・経営体の現状を考えると課題解決のひとつとして大きな手法です。一方、稲作を取り巻く農業環境が絶えず変化し、これへの対応が従来より求められてきました。

方からは「作業がしやすく何かと便利」という評価を得ているとのことでした。また、機械の大型化により作業効率を高めることができるため、これから実施する施工地区についても200メートルを超えた圃場規格を進めることを推奨されました。

この地区は施工後、2割園芸の目標設定がされており、笹神地区では枝豆(えんだま)を導入していく予定であることから、畑作に対応できるように、排水構造(地下灌漑)の設定をしていくことでした。

堀耕東地区：担い手農家9名・1法人・一般農家13名

令和元年度に面工事を終えたエリア(約12ヘクタール)の暗渠工事が今後行われます。この暗渠工事には、17,000袋のみみ殻が必要ですが、現在、もみ殻確保が課題となっており、農協への協力依頼を含め対応しているところです。標準区画の大きさは、長辺135メートル×幅37メートルの5反区画、中畔を抜くと最大2ヘクタールにできるような圃場となっています。

また、将来を見越して周辺の農道と市道の拡幅の整備を阿賀野市と協力して進めて行くとともに、市道との段差軽減や作業がしやすいように簡易畦畔が設置されていました。

閉会中の継続調査事項(12月定例会まで)
阿賀野バイパス工事の進捗状況について



説明をうける委員 (阿賀野川土地改良区 小見工務第二課長より説明)

一般質問

通学路の安全対策について



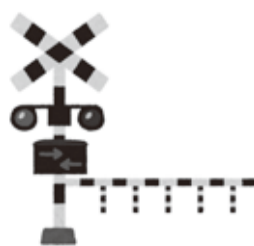
無会派 近山 修

【質問】6月28日に千葉県八街市で下校中の小学生の列にトラックが突っ込み、児童5人が死傷した事故を受けて、菅首相が全国の教育委員会に通学路の総点検を指示した。阿賀野市の通学路の安全状況を伺う。

【答弁】「通学路総点検」で新たに付け加えられた観点を含めた内容で、9月中に関係機関による合同点検を実施する。市では平成24年に実施した「通学路緊急合同点検」以降、関係機関と危険箇所について情報を共有し、それぞれの機関において危険箇

所の改善や対策を実施し、通学路の安全性の向上を図っている。平成29年3月に関係機関の連携を強化するため「阿賀野市通学路交通安全プログラム」を策定し、このプログラムに基づき、通学路安全推進協議会を設置している。改善や対策を実施した箇所について効果等の把握を行い、今後の対策に生かすこととしている。これらの取り組みをPDCAサイクルにより繰り返し実施していくことで通学路の安全性の向上を図っている。

【質問】踏切保安設備の一つである列車進行方向指示器の設置については、東日本旅客鉄道新潟支社が国土交通省令に基づく社内基準により、複線区間の踏切に設置している。羽越本線は単線区間であり、上り列車と下り列車が同時に踏切を通過することがない。法令に基づく設置対象箇所でないことから要望は難しい。



JR踏切の通過列車の矢印ランプの設置について

【質問】菅原神社と月崎の踏切の見通しが悪く、上り線か下り線どちらから列車がくるのかわからない。踏切利用者の不安解消のために、矢印ランプの設置をJR新潟支社に要望すべきと思う。



新風あがの 加藤 博幸

今後の社会活動再開の進め方は

【質問】公共施設休止の一方、成人式は開催。整合性を伺う。
【答弁】感染拡大を防止することを重要視しつつ、参加者が確認できる催しは対策を講じて実施したい。

ヤングケアラー(YC)・生理の貧困対応は

【質問】6月以降の取組みを伺う。
【答弁】YCの認知度向上と対応体制を整えた。今後の調査結果も見ながら適切に対処する。全ての学校に生理用品を常備。適

児童・生徒・高齢者の安全確保は

【質問】防犯カメラ設置基準を伺う。
【答弁】捜索活動での地域絞込みや犯罪抑制に主要道路の交差点に設置。

公共施設等の改修判断基準は

【質問】適切な時期に改修を行うべき。
【意見】既に危険箇所と認識している箇所は是正に向け取り組むべき。

河川改修を含めた水環境の維持、整備が必要

【質問】駒林川の改修状況と接続する市管理の河川整備を伺う。
【答弁】下流から順次工事中。山口地内まで工事が進んでいる。途中経過の説明を検討したい。市が管理する河川等の整備計画はないが、浚渫や除草を実施し適正な維持管理に努めたい。
【意見】市民の方に市内を流れる川の現状を伝えつつ、きれいな川づくりに取り組むべき。



一般質問



無党派
清野 栄一

「子ども宅食」への取組みについて

質問 ふるさと納税を活用し、市町村・NPO・企業などが子供の貧困の解決に向けて協働する仕組み。文京区長の発案、足立区、静岡市、神戸市など65団体で実施、市町村が参加することにより児童扶養手当や就学援助世帯等の困窮する子どもへのピンポイントでのアプローチが可能になる。生活困窮家庭が増えており、シングルマザーアンケートでも、生活が厳しく食糧支援を希望する人は多数いる。私たちの未来を託す子どもたちがひもじい思いをせず笑顔になれるような支援が必要と思うが、所見を伺う。

答弁 事業構築、継続的取り組みが可能と判断されれば、ふるさと納税などの活用を視野に考えていく。

質問 「子ども宅食」は政府備蓄米の無償提供対象になった。市町村が関与することにより信用度も増す。血も涙もある市長と思うがどうか。

答弁 最も人間らしい市長である。力を入れたい部分、他市町村の状況把握が後手になっていくのが前向きに考える。

質問 具体内に取り組みの期限を示して欲しい。

答弁 幅広く考えたいので期限は示せない。



新風あがの
百都 順也

公園整備事業について

質問 近年、瓢湖水きん公園や天朝山公園を中心に整備が進められたが、市全体では管理不十分の公園が多く見受けられる。市内公園施設の現況と今後の整備についての考えを伺う。

答弁 市で設置している34か所の公園は、全体的に老朽化が進んでいる。今後の整備については、今年度は老朽化した遊具の更新・撤去を進め、引き続き施設点検から修繕・更新等必要な施設整備を計画的に行う。

また、地域の自治会などに呼びかけを行い、比較的小規模な公園を中心に、市民協働による

維持管理体制の構築を図っていく。

質問 市民の方々にとって公園整備は身近な問題であり、特にコロナ禍での子育てや健康づくりの環境として多くの意見要望がある。公園整備への市民のニーズをどのように認識しているか伺う。

答弁 まちづくりアンケートでは主に大型公園の設置と遊具の充実に関する要望が寄せられている。これまで整備してきた瓢湖水きん公園などの利用に関する検証とともに、旧4か町村各地区への中核的な公園設置に向けて検討を続け、市民の声を反映させていきたい。

質問 公園整備にあたり、子供が主体的に遊びを作っていくプーパークや、障がいの有無に関わらず一緒に遊べるインクルーシブ公園、民間資金を活用するParkPFIなどとい

災害対応等について

質問 8月23日未明の県の土砂災害情報による避難指示、新発田市4時45分、阿賀野市7時16分。この差は何か。

答弁 現地パトロールを行った後に指示を出した。

質問 安野川大室地区は4時、金田町地区は6時20分氾濫危険水位を超えたが避難指示を出さないのか。

答弁 氾濫危険水位は超えたが、雨が止んだので避難指示は出さなかった。

意見 新潟市は安野川が氾濫危険水位を超えたことから5、010人に避難指示を出している。災害対応は1分1秒が生死を分けることになる。適切な対応を望む。

◆その他の質問◆ 五泉地域衛生施設組合が設置する最終処分場について

った先進的な取り組みと、現在建設中の道の駅における特色ある公園整備について検討状況を伺う。

答弁 例に挙げた先進的な取り組みについて現在検討はしていないが、情報収集を行うなど注視していく。道の駅の公園整備については、どの設備を導入するか等の具体的な検討を重ねているところである。



整備された天朝山公園



無党派
遠藤 智子

不妊治療休暇制度について

質問 近年、晩婚化等を背景に不妊治療を受ける夫婦は5・5組に1組で、一方、厚労省の平成29年度調査では、不妊治療経験者のうち、男女計では16%、女性のみで23%の方が仕事と両立できず離職し、治療と仕事の両立支援が社会的課題となっている。政府は、不妊治療と仕事の両立に関する雇用環境の整備について、次世代育成支援対策推進法に基づく行動計画策定指針中に盛り込み、4月から適用されている。検査や治療のための頻繁な通院や、心身、金銭面

など男女共に大きな負担が生じるため、職場環境整備により企業における労働者の離職防止、人材確保の観点からも重要との考え方から、実情に応じた取組みへの改正に事業所の理解が求められている。県内では、県庁上越市役所、加茂市役所で不妊治療休暇制度が創設されているが、当市での創設の考えを伺う。

答弁 不妊治療の取組みについては、厚労省内の検討チームで不妊に悩む方の実態調査と、治療を受けることの課題の把握、対応策の検討が進められており、社会全体で取り組む課題と認識している。内閣府と厚労省は、不妊治療と仕事の両立に職場環境の整備が必要として経団連などに要請し、その取組みの一環として8月10日の人事院勧告では、国家公務員の不妊治療のための休暇の新設が盛り込まれた。当市の休暇等の制度は国に準じ



日本共産党
岡部 直史

災害対策および消防団員の処遇改善

質問 災害時における避難計画要介護者等の避難支援者に対する対応を伺う。

答弁 要支援者名簿を保持している民生委員や、包括支援センターの職員が声をかけるなど、逃げ遅れがないよう対応する。

質問 避難所が設置された場合、コロナウイルス対策、女性の着替えのスペース、授乳室などの配慮について伺う。

答弁 避難所においては、避難者に配布するチラシ等も用意して、パーテーションで仕切りを作る、プライバシーを守るなど

の配慮を行う。

質問 消防団員に対する待遇、報酬については、総務省の指針や他市との比較で差があるので改善が必要では。

答弁 年額報酬で県平均と比較し8、600円低い。総務省の「基準」をふまえて、消防団の待遇や報酬、行事の見直しなど、今後のあり方について消防団幹部と消防本部で検討をすすめており、今年度中に方針を示す。



市のジェンダー平等、「生理の貧困」改善を

質問 市の各種審議会に占める女性の割合、市職員の仕事に占める女性の割合は。

ているが、今後の国の動向を注視し、不妊治療と仕事が両立できるように休暇制度の新設を検討する。

質問 加茂市は制度の創設により不妊治療への理解を民間事業所へ広げたいとのこと。当市も市で制度を創設し、民間事業者へ理解を広げたいと考えているが、当事者にしかわからない苦しみに十分配慮する形で取り組みたい。



答弁 審議会は34%、管理職では12%、女性が占めている。

質問 ものごとを決定し、実行する機関に女性登用が必要だ。会計年度任用職員（地方公務員法の規定に基づき任用される非常勤職員。従来の臨時職員等）に占める女性の割合は。全国では7割を占め、低賃金で働いている。処遇の改善が必要だ。

答弁 会計年度任用職員は74%が女性。

質問 4月に文科省から「学校の生理用品提供場所の配慮、生徒が安心して入手できるよう工夫・検討を」との事務連絡が発出された。トイレに配置することを伺う。

答弁 学校から実態や要望を聞きながら対応する。



日本共産党
宮脇 雅夫



コロナ対応の欠陥を ただし、命を守れ

質問 政府のコロナ対応は、安倍政権の「アベのマスク」、突然の全国一斉休校から始まった。後継の菅政権は、①科学を無視。PCR検査率は世界で143位の低さ。「GOTOキャンペーン」を進め、ウィルスを全国に広げた。オリンピックの強引な開催によって間違ったメッセージを国民に流し続け、感染爆発をつくったが、反省がない。②首相が国民への説明責任を果たさず、本気度も危機感も国民に伝わらない。野党の国会招集要求にも応じない。③安倍・菅政権は、

コロナ対応にまで「自己責任」論を持ちこみ、中小業者の命綱であった持続化給付金などは1回で打ち切り、医療機関への減収補填も拒否。「原則自宅療養」の方針を突然打ち出し、犠牲者も出ている。菅政権のコロナ対応についての評価と、感染封じ込め方針はどうか。

回答 国からのワクチン供給不足により、接種の減速を余儀なくされるなど、事業に混乱が生じたことなど、一連の国の対応は評価できず、違和感を覚えた。感染封じ込めの考え方は、個々の感染防止対策の徹底を基本とした上で、医療体制の拡充や若年層への早期ワクチン接種などが重要。

高齢者世帯にエアコン設置費の助成を

質問 地球温暖化で、記録的な猛暑が続き、多くの高齢者が室内で熱中症となり救急搬送もされている。室内熱中症を防ぐため、各地の自治体は独自に高齢者世帯のエアコン購入・設置費用を助成している。例えば、福島県喜多方市では、65歳以上のみで住民税非課税世帯に、費用の4分の3の上限3万7千円を助成している。当市でも助成せよ。

回答 今夏、熱中症による救急搬送が31件あった。喜多方市の例などを参考に実施を検討する。



日本共産党
松崎 良繼



米価大幅下落対策を 国に求めよ

質問 仮渡金大幅下落で生産費を大きく下回っている。備蓄米緊急買い入れを全国知事会も要望しているが市長の考えを伺う。
回答 緊急避難で問題解決につながる。
質問 緊急避難だからやらなくてもいいという考えか。
回答 備蓄米を増やすことは作物転換誘導策と逆行する。
質問 作物転換が進まないのは米以外の農産物自由化を進め、価格・所得補償を放棄してきたから。小規模、家族経営、兼業農家も取り組めるような複合経営

営支援策を図れ。
回答 堆肥のペレット化、枝豆などの園芸振興などを足がかりに進めたい。
質問 MA米には主食用等に輸入させるSBS米が含まれている。日本にとっていらぬ米を輸入しているのが実態だ。削減を求めるとは。
回答 主食用には回っていない。

土石流、山津波対策強化を

質問 白河堰、羽黒堰の作動不具合による溢水被害が2年続けて発生した。機械装置に故障はつきもので人命に関わる。豪雨予想時には必ず人が監視できる体制を図れ。
回答 遠隔監視できる設備構築と、警報発令時にはパトロールを強化する。
質問 麓は降っていないのに上

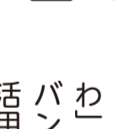
流の局部的豪雨で起きる鉄砲水は五頭山系ではしばしば起きていて。危険をいち早く知らせる電光掲示板、大荒川、折居川上流に雨量観測所を設置してはどうか。
回答 電光掲示板は有効だ。県に働きかける。市として雨量観測所設置は考えていない。
質問 県開設林道五頭山麓南線の工事から出たと思われる残土が上山林道上部に多量に盛土されているが、経過と土砂量や安全対策などを問う。
回答 林道工事の残土7千300mを盛土したもので、財産区の了解を得てスギの植栽をし、安全対策が講じられていることだ。



上山林道上流の盛土跡



公明党
村上 清彦



フードバンク活動に 対する支援について

質問 フードバンクとは、まだ食べられるのに、様々な理由で処分されてしまう食品を、食べ物に困っている人に届ける社会福祉活動である。生活困窮者支援に大切な役割を果たすものであり、昨今のコロナ禍においては、全国的にニーズが高まっている。本市でのフードバンク活動は、社会福祉協議会で年1回の配付と、緊急支援のための一時的な提供が行われているだけであり、事業の実施主体のある他の自治体に比べて充実しているとは言えない状況。神奈川県

海老名市では、7月から「公益社団法人フードバンクかながわ」と合意書を締結し、フードバンクから提供を受けた食品を活用して、必要な方に対する食の支援事業を試行的に開始。食の無料配布会（フードパントリー）を実施するとともに、生活困窮者、社会的弱者などの方々を福祉的な支援につなぐきつかけとするために、臨時相談窓口を設置し、継続的な支援につなげていくというものであり、毎月1回実施していくとのこと。フードバンクの活動を行政の福祉政策の一環として位置付け、積極的な関わりを持つことが必要だと考えるが、事業の取り組みについて、本市の見解を伺う。
回答 当市では、社会福祉協議会に委託している「暮らしサポートセンターあがの」において、相談にいられた方が食べ物に困っておられる場合、社会福



新風あがの
荒澤 浩和



新型コロナウイルス 感染症について

質問 40代・30代・20代・10代と接種が進むにあたって今後の対応。
回答 若年層に多く見られるアナフィラキシーの出現に注視している。不測の事態の際にも出務医師の指示のもと、適切な応急処置と早期の救急搬送に努める。
質問 予約方法の対応・問題点
回答 電話予約は混雑が予想されるため、インターネットでの予約を推奨しており、また市役所及び各支所に臨時窓口を設置して対応している。

質問 接種会場の現状問題・スタッフの意見
回答 待合スペースが狭く不便をおかしている会場もある。受付から30分以内で接種会場を後にできるようにした。
質問 若い世代の接種率を上げるため、休日や夜間に接種を受けられるようにスケジュール計画に配慮している。
質問 ファイザーワクチン以外の供給の考え
回答 現時点で、当市では今後もファイザーのみを使用する。
質問 現時点でワクチン接種を希望しない方に対する今後の説明や対応
回答 ワクチン接種は強制ではなく、接種の是非については最終的に本人が判断する。

質問 阿賀野市「道の駅」について
回答 各種補助事業の現在の状況

社協議会への寄附等により保管している食材を配布しているが、質問にあるような「フードバンク」として活動している団体はなく、当市におけるフードバンク事業については充実しているとは言い難い状況であると認識している。今後は、当市や社会福祉協議会の活動を通じてフードバンクを必要とする家庭状況の把握に努め、フードバンク活動の必要性を前向きに検討していく。



質問 地場産販売の協力農家等の進捗状況
回答 既に生産者に対し「いっこ」のような農産物が「どれだけ」道の駅に出荷できるかアンケートを実施しており、秋頃には出荷組合の設立も予定していると聞いている。
質問 公園・広場の遊具の検討結果
回答 現在も検討を重ねている。
質問 民間企業との連携状況・問題点
回答 随時、市の担当部署と情報共有が図られており、今現在、特に問題点はない。

質問 工事が進む道の駅



工事が進む道の駅

一般質問



新風あがの
遠藤 孝



地域防災マップの有効性確保について

質問 市、各自治会の防災訓練（避難所の確認、情報伝達体制、避難誘導体制）について伺う。

回答 市では、例年秋に小学校区を単位とした総合防災訓練を行い、防災無線で避難指示を発令し、自治会で安否確認、避難所までの誘導、避難等を実施していただいている。（本年は中止）昨年は24の自治会で実施し、危険箇所の点検、防災訓練を行った。3回シリーズで行っている。

質問 市では、例年秋に小学校区を単位とした総合防災訓練を行い、防災無線で避難指示を発令し、自治会で安否確認、避難所までの誘導、避難等を実施していただいている。（本年は中止）昨年は24の自治会で実施し、危険箇所の点検、防災訓練を行った。3回シリーズで行っている。



新風あがの
風間 輝榮



新型コロナウイルスワクチン接種について

質問 緊急事態宣言や蔓延防止等重点措置で感染を抑えられていない現状を、政府と自治体、国民は深刻に受け止めなければならぬ。これまでのワクチン接種の状況を伺う。

回答 8月24日現在、1回目は2万3,954人、2回目は2万780人の方が接種を終えている。接種率は1回目が64歳以下45・2%、65歳以上89・2%、2回目が64歳以下33・3%、65歳以上88・3%。

質問 3回目の追加接種について、どのように考えているのか

る防災塾においても避難訓練を行っている。今後も継続して開催を働きかけていきたい。

質問 専門知識を持った職員は養成、配置と災害時組織体制はできているのか伺う。

回答 専門知識を持った職員の養成や配置は現在していないが、市内在住の気象予報官をされた方を防災気象アドバイザーに委嘱して、異常気象が予見された際のアドバイザーや防災教育を担当してもらっている。災害時の組織体制は、班体制を敷いて各所掌事務を定めている。

質問 洪水ハザードマップの見直し、作成、避難指示等発令の判断基準の明確化について伺う。

回答 洪水ハザードマップについては、安野川、駒林川の改修工事終了後、見直しを検討する。避難指示等は、阿賀野川、安野川がそれぞれ定められた水位に達した段階で、気象予報等も勘

質問 洪水ハザードマップの見直し、作成、避難指示等発令の判断基準の明確化について伺う。

回答 洪水ハザードマップについては、安野川、駒林川の改修工事終了後、見直しを検討する。避難指示等は、阿賀野川、安野川がそれぞれ定められた水位に達した段階で、気象予報等も勘

伺う。

質問 米国では2回目の接種を終えてから8か月後に3回目を行う方針とのことであるが、これまでのところ、厚生労働省から方針が明らかにされていない。現時点では、希望する市民ができるだけ早く2回の接種を終えることが重要と考え、早期の接種終了に向け努める。

阿賀野市プレミアム付商品券について

質問 市内4商工会では、新型コロナウイルス感染症の影響による緊急経済対策として、プレミアム付商品券を発行している。発行総額6億5千万円、1万円で3千円のプレミアムとなっているが、現在までの売れ行き状況を伺う。

回答 7月1日から19日の購入予約は1万3,905冊で、8月2日から引き換えを行った。

案し発令する。

質問 避難所における新型コロナウイルス感染症の過密抑制対策について伺う。

回答 市内8か所の主要避難所にダンボールパーティションを配置しており、密が避けられない場合は仕切りを作り、感染対策を行うこととしている。



8月12日からは販売店における直接販売を行い、8月26日時点で販売総額5万冊に対して3万789冊を販売した。今後も引き続き周知を図り、事業効果を高めたい。



五頭温泉郷(GO!!)宿泊キャンペーンについて

質問 これまでの予約・利用状況と今後の見通しについて伺う。

回答 8月15日までに延べ4,410人が宿泊し、予約も含めると1万9300人の利用。割引予定額は約2,800万円、予算執行率93%の見込み。新規予約を含めた今後の見直しは、感染拡大防止を優先に新温泉と歩調を合わせる。



無党派
天野 市榮



電子入札システムの導入について

質問 国や県及び県内自治体（12市1村）においても電子入札の導入が進んでいる。自治体における電子入札の導入は、デジタル庁の創設や総務省が策定した「自治体デジタル・トランスフォーメーション（DX）推進計画」に沿った政策課題の一つであり、導入に伴い国からの財政措置も期待される。国土交通省は電子入札の効果として「競争性の向上、コストの縮減、事務の効率化」などを挙げている。また新型コロナウイルスなどの感染症対策の面からも有益性が

質問 国や県及び県内自治体（12市1村）においても電子入札の導入が進んでいる。自治体における電子入札の導入は、デジタル庁の創設や総務省が策定した「自治体デジタル・トランスフォーメーション（DX）推進計画」に沿った政策課題の一つであり、導入に伴い国からの財政措置も期待される。国土交通省は電子入札の効果として「競争性の向上、コストの縮減、事務の効率化」などを挙げている。また新型コロナウイルスなどの感染症対策の面からも有益性が

高い。本市での導入の可否を伺う。

回答 費用対効果も含め、メリット・デメリットについて慎重に検証を行いながら、導入に向けて引き続き検討を進める。

大日地区最終処分場の建設断念による責任の所在について

質問 大日地区での建設断念により、これまで支出された4,036万円もの税金と4年もの歳月が結果的に無駄になった。また、五泉市内で建設中の中間処理施設との同時供用開始（令和7年度中）もできなくなった。五泉地域衛生施設組合から提供された資料や情報公開請求により市から提供された資料を精査すると、大日地区の選定過程において不透明な点が認められる。施設組合から本市に託された最

質問 大日地区での建設断念により、これまで支出された4,036万円もの税金と4年もの歳月が結果的に無駄になった。また、五泉市内で建設中の中間処理施設との同時供用開始（令和7年度中）もできなくなった。五泉地域衛生施設組合から提供された資料や情報公開請求により市から提供された資料を精査すると、大日地区の選定過程において不透明な点が認められる。施設組合から本市に託された最



建設断念の大日地区最終処分場予定地

終処分場の建設地選定について、十分な検討を行わないまま拙速に大日地区を決定し、結果的に同所での建設断念を招いた責任は重い。このような事態になったことに対し、市政の最高責任者としての責任を問う。

回答 大日地区については適切に選定した。最終処分場は必要不可欠な施設であり、新たな建設地の選定に向けて施設組合や構成市町（2市1町）で慎重に検討する。

● 議会の情報は市ホームページをご覧ください ●

● 検索サイトから

本会議議事録や議員名簿、会議の日程、本会議の中継映像・録画映像がご覧いただけます。ぜひご利用ください。

中継はココをクリック!

録画映像がスグ見たい時は

視聴したい「会議名」「議員名」を選んでクリック!

次回12月定例会の予定

11月26日の議会運営委員会で正式に決定します。
その後、市ホームページでお知らせします。

月 日	会 議 名
11月26日(金)	議会運営委員会 (定例会の運営方針決定)
12月 7日(火)	本会議 (議案上程、一般質問)
12月 8日(水)	本会議 (一般質問)
12月 9日(木)	本会議 (一般質問)
12月13日(月)	総務文教常任委員会
12月14日(火)	社会厚生常任委員会
12月15日(水)	産業建設常任委員会
12月17日(金)	本会議 (委員長報告、採決)

祝 阿賀野市市民栄誉賞贈呈式

東京2020パラリンピックに出場した山田美幸さん(京ヶ瀬中3年)が女子競泳背泳ぎで2つの銀メダルを獲得し、パラリンピック日本史上最年少のメダリストとなりました。山田さんには市民栄誉賞が贈呈され、10月4日に市役所で行われた贈呈式には市議会から市川英敏議長と遠藤智子副議長が出席しました。

これまでの練習の成果を十分に発揮し力強く泳ぐ山田さんの姿は、私たちに感動を与えてくれました。



令和2年度決算審査

議案ピックアップ

■一般会計ほか8会計決算を認定

令和2年度一般会計ほか8会計の歳入歳出決算は、議長を除く全議員で構成される決算審査特別委員会に付託され、3日間にわたり慎重審査を行い、本会議最終日に採決の結果、いずれも認定されました。

令和2年度各会計の決算状況

会計名	歳入総額	歳出総額
一般会計	270億7,911万円	258億9,933万円
国民健康保険特別会計	42億8,908万円	42億3,975万円
後期高齢者医療特別会計	8億6,645万円	8億5,831万円
介護保険特別会計	51億9,974万円	50億3,619万円
押切外四ヶ大字財産区特別会計	878万円	791万円
少年自然の家特別会計	3,207万円	3,071万円

水道事業会計	収益的収入	13億4,757万円	収益的支出	11億3,514万円
	資本的収入	2億9,864万円	資本的支出	8億7,407万円
下水道事業会計	収益的収入	18億6,651万円	収益的支出	18億6,350万円
	資本的収入	13億 577万円	資本的支出	18億 518万円
病院事業会計	収益的収入	5億2,937万円	収益的支出	9億1,276万円
	資本的収入	7,067万円	資本的支出	1億2,802万円

市長への総括質疑より

- 問 市税の徴収率がなかなか上向いてこない。市政運営には歳入の確保が大事な課題。市長の認識を伺う。
- 答 税は民主主義の基本。誰もが基本として税を納めるという考えはお持ちだと思ふ。しっかりとした相談体制をとり、徴収率が上がるように精一杯努力をしている。今後も市民の理解を得ながら頑張ってもらいたい。
- 問 PCR検査の補助について、市では施策を重ねてきた。改めて検査費用の補助制度について整理し、市民負担の少ない方法を考えてみてはいかがか。
- 答 今までの取組みが、市民ニーズ、市民の健康、命を守るためにいかされているのかを検証していくことが必要。制度の再評価をしながら取組みをどう進めていくか検討していく。

まちの話題

朝市けんこう教室

もち麦フッキー
大好評!

9月4日早朝、多くの来客で賑わう「夢ファームくまい」の直売所にて健康教室が行われ、10人ほどが参加しました。コロナ禍による外出の自粛等で、運動不足や認知機能の衰えが心配されていますが、運動指導員の本間由香里さんは、高齢者の運動指導をする中で精神的な不安を耳にし、改善につなげることが出来ればと企画。直売所を運営するアグリピースの遠藤甲太郎さんと連携し開催することとなりました。教室は4月から11月、第一土曜日7時30分から。ぜひ訪れてはいかがでしょうか。



簡単DIY教室

8月28日、齋藤清正さん(齋藤工務店)を講師に迎え、風とぴあで市生涯学習課主催のDIY教室が開催されました。感染症拡大防止のため、参加者は8人限定。講師の説明を受けながら各自で鉢植えなどが置ける大きさのミニチュアを完成させました。参加者からは、楽しかった、テーブルなど他の作品も作ってみたいとの声がかれました。



県事業要望会が開催されました

8月23日、阿賀野市における県事業要望会が開催され、市川英敏議長、山口功位産業建設常任委員会委員長が出席しました。



市役所での説明の後、要望箇所を現地視察しました。

発行：阿賀野市議会
編集：議会改革推進特別委員会
広報広聴部会
〒959-2092
阿賀野市岡山町10番15号
TEL：61-2489
FAX：61-2067
E-mail：gikai@city.agano.niigata.jp

お問い合わせは
こちらから



次号は令和4年1月17日発行の
予定です。

議会改革推進特別委員会広報広聴部会
部長 松崎良繼
副部長 近藤山修
遠藤智彦
村上清彦
斎藤清史
岡野直史
清野栄一
天野浩和

前号では聖火ランナーが表紙を飾り、東京オリンピックパラリンピックを待ち遠しく感じていました。大会が始まると頑張る選手の姿に感動する毎日で、中でも競泳に出場された山田美幸選手が懸命に泳ぐ姿に感涙。銀メダルの獲得に心から祝い申し上げます。
さて、早いもので昨秋の改選から1年が経とうとしています。この間、当部会では見やすくわかりやすい誌面にと毎号議論し取り組んできましたがいかがでしたでしょうか。市民の皆様からもご意見、ご感想をお寄せいただければ幸いです。

広報広聴部会 村上 清彦

編集後記

